



# Like an OMAEZAKI

観光プロデューサーが見た、感じた Oh!MyZAKI  
私たちの「あたりまえ」が、市外の人には「お宝」なコト・モノ

## 魚市場で競り見学

先日、南駿河湾漁協様の許可を得て、御前崎港の「地方卸売市場御前崎魚市場」でカツオの競りを見学しました。

この日の水揚げはそれほど多くないと事前聞いていましたが、朝7時から始まる競りを前にズラリと並んだ生カツオの列は壮観！朝日に照らされ、ピカピカ光る体とピンと立ったヒレは新鮮さを物語り、いかにもおいしそうでした。

7時になると仲買人さんたちの駆け引きが始まります。素人の私には競りの時の掛け声は何を言っているのかわかりませんでした。あつという間に競り落とされたカツオにラベルが貼られていくさまは、異次元の営みを見る気分でした。

同港では、多い日には午後も含めて計7回もの競りがあるのだそうです。シラスや丸々と太ったマグロも取り引きされています。

「競り」の様子は見せ物ではありませんし、仲買人さんたちの仕事の邪魔になってはいけませんが、将来的に市民の皆さんや観光客の皆さんが、少人数で競り見学できるような仕組みができると良いなあ、と思っています。



御前崎市観光プロデューサー 山崎 淳  
照会 商工観光課 ☎0537⑤1135

# Atomic

なっとく！原子力とエネルギーの



暮らしと原子力



次世代革新炉ってどんなものがあるの？



次世代革新炉を大きく分類すると、革新軽水炉、小型軽水炉、高速炉、高温ガス炉、核融合炉の5種類があります。今回は、革新軽水炉と小型軽水炉の特徴について紹介します。

2050年カーボンニュートラルの実現・安定供給に向け、原子力部門では次世代革新炉の開発や発電所の運転期間延長などの課題について検討されています。

	特徴
革新軽水炉	既存の大型軽水炉をベースに安全性を高めたもの。耐震性の強化や炉心冷却の手段の多様化などが特徴で、既存の技術や部品などの供給網を生かせるうえ、必要な安全対策が従来の延長線上にあることから、他の次世代革新炉に先行して実用化が高まると見込まれています。
小型軽水炉	出力30万kW以下の比較的小さい次世代原子炉。ほとんどを工場を組み立てることができるため、品質の維持・向上や工期の短縮、建設コストの削減が見込まれます。また、小型で低出力のため、事故時に原子炉が「自然に止まり」、「自然に冷える」といった安全性が高まると見込まれています。

照会 エネルギー政策課 ☎0537⑤1134